

知事と区市町村長との意見交換会(東久留米市)

令和2年10月20日(火)

14時50分～15時10分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事からお願いをいたします。

○**知事** 今日はありがとうございます。都政運営、様々御協力いただいております。

コロナ対策ということで、これまでの累積で見ますと78人と書いてあるね。本当、いろいろ御苦労があるかと思います。何としても打ち勝っていきたいし、また、そのためにも市民の皆さんに的確な情報を流していくということも必要かと思います。ウィズコロナの社会をどうやって築くかという大きな課題があります。

それと東京都政の構造改革も進めながら、新しい日常、サステナブル・リカバリー、ただ元に戻るのではなくて、持続可能な回復ということを目指すためにも、いろいろ今後とも長期の戦略も決めていかなければなりません。

今日はそういうことで、現場のお声を聞かせていただきたい。よろしくをお願いします。

○**行政部長** それでは並木市長、御発言をお願いいたします。

○**東久留米市長** 改めましてこんにちは。本日はこのような貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。また、小池知事におかれましては、東久留米は今年市制施行50周年ということで、素晴らしいメッセージをいただきまして。式典は執り行うことはできなかったんですが、初めての試みで記念映像という形で残しまして、市民の皆さんが見れるような状況になっております。ホームページから見れますので、是非皆さんに見ていただきたいなと思っております。

また、本当に交付金等をいただきまして、大変厳しい時期でありましたけれども、市民の皆さんの生活であったり、対策、防止に振り分けることができましたので、本当に助かりました。市を代表して感謝を申し上げる次第であります。

この度3件、要望事項として挙げさせていただきたいというふうに思っております。

それではまずはじめに、来年度の予算におけます財政支援についてでございます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりまして、社会経済に与えた影響は大変大きく、特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、事業者等への休業や時短営業の要請、国民の外出自粛等の措置が取られたことにより、日本の経済は大変厳しい状況でございます。

こうした状況への対応といたしまして、都で様々な対策を実施するとともに、早々に新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金、先ほど述べさせていただきました市町村へ支援いただき、本市でも休業等により厳しい状況におかれています事業者への支援、また、妊婦の方々を対象とした生活支援、市民生活に関わる様々な支援事業等の対策を図ることができました。改めて感謝を申し上げる次第であります。

しかしながら新型コロナウイルス感染症はいまだ終息の兆しが見えない。今後も新型コロナウイルス感染症の影響によりまして市税収入の減少等、市財政に大変大きな影響が出ることは必至でございます。

次年度に向けた財源の確保は市の最重要課題でございますし、本日3件の要望をさせていただきますけれども、やはりその財政的な支援というのは、その中でも最も重要な事項であるというふうに思っています。

市民サービスに直結した事業、また様々な維持、継続していかなければいけない市民生活に支障をきたしてしまうことにならないように、財政基盤が弱い本市にとりましては、東京都の財政支援なしで事業継続は大変困難でございます。

安定した事業継続を図っていくためにも、総合交付金をはじめとした、また、各種の財政支援を強く要望させていただくところでございます。

続いて二点目に移らせていただきます。都立六仙公園を中心としたまちづくり、魅力あるまちづくりについてでございます。

昨年度も要望させていただいておりますけれども、都立六仙公園は東久留米市のほぼ中心に位置してございまして、北多摩地域におきます緑の拠点として計画をされております。

雑木林等の武蔵野の風景を再現し、隣接する湧水の涵養地となるよう、また、災害時の避難の広場として、防災機能を持った公園として整備が進められてございます。

公園マネジメントプランにもこのように方針つけられました、六仙公園の近くには、東京の名水57選に選ばれました南沢緑地を含みます、環境省の平成の名水100選に都内で唯一選定された、落合川と南沢湧水地がございまして、大変綺麗な水でございます。

また、古来、人々の手が入り大切にされてまいりました向山緑地、また、現在この向山緑地の周辺の緑地を都市計画緑地区域に追加いたしまして、緑の保全を進めているところでございます。

こうした周辺環境の整備とともに、東京都が水の森の創造～湧水をまもり、緑をあるく～をコンセプトに作られております六仙公園を核に、周辺の貴重な環境資源を有機的につなげ、水と緑のネットワークを更に充実していくことは、多摩の振興プランに沿った発想であるというふうに思っております。

一方、俯瞰的に見ますと、六仙公園は北多摩地域の緑の拠点であるにも関わらず、主要幹線道路からのアクセスに難があることは否めないというところであります。

東久留米市といたしましても、アクセス性の向上について検討しているところでありますが、東京都が計画する第四次事業化計画において優先整備路線として位置付けられている、東村山都市計画道路3・4・18号線の早期着手及び予定されております公園駐車場の整備をお願いする次第であります。魅力溢れる水と緑の回廊の形成に向け、一層の支援をお願いいたします。

続いて最後にTOKYO GLOBAL GATEWAYの誘致でございます。昨年度もお話させていただいておりますが、2020年に向けた実行プラン、三つのシティのうち、ダイバーシティに掲げられました。

未来を担う人材の育成というテーマでは、少子高齢化が増々進展する中であって、より重要性が際立っているものと考えています。

この政策の柱の一つの取組といたしまして、江東区の青海に開設されております TOKYO GLOBAL GATEWAY は、子供達が生きた英語に触れあえる新しい形の取組であり、大変好評を博していると同っております。

新型コロナウイルスの影響で、現在は施設運営に苦慮している状況であると同っておりますが、TGG のような、子供達に英語を使う楽しさ、その必要性に気付いてもらうことができる施設は、将来を担う子供達にとって大変重要なものと感じております。

昨年度の意見交換の場でこの施設の誘致について要望させていただき、その後、多摩地域にも開設していただけるとお考えを示していただいたことを大変嬉しく思っているところでございます。

本市といたしましても、多摩北部に東京都関連の施設が乏しく、そうした施設から波及する地域への様々な効果が得られていないと感じてございます。

施設の利用条件の公平化、及び多摩北部の振興という視点からも、是非多摩北部の中心にございます本市へ TGG 多摩版を誘致したいと考えており、開設をお願いするところでございます。要望事項は、以上でございます。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 それでは私の方から。3点、今、市長の方からお話がございました。二つ目の都市計画道路の件について、まずお話させていただきます。

六仙公園は、大変親しまれているということであり、御要望の都市計画道路ですが、地域の安全性の向上、それから交通の円滑化に資する道路だというふうに、都としても認識をしております。この路線につきましても、市と連携を図りながら取り組んでいく考えであります。

また、公園駐車場の整備についても、用地の取得、そして周辺の市道整備の進捗に合せて、逐次整備を進めていくという考えでございます。

それから兼ねてより市長が TGG をという話をされておられたわけであり、青海の方の TGG は、今、コロナ禍で大体学校から来て学ぶシステムになっておりますので、しばらくは厳しいといえますか、皆来られない状況が続いておりましたけれど、今は徐々に復活しつつあるということで、大変人気であります。

また、利用者が減少しているわけでありませうけれども、やはりニーズは高いものというふうに考えております。

それから多摩地域での体験型の英語学習施設については、より多くの子供達に利用してもらえるように、教育委員会と連携しまして立地であるとか、規模、それから開設時期等を含めて、具体的な検討を進めて参りたいと考えております。

やはりグローバルな教育を進めるためにも、非常に TGG は効果があるということで、とても人気であることは事実でございます。

いずれにしても、今申し上げたような流れで、具体的な検討を進めていきたいと考

えております。

それでは多羅尾副知事の方から。

○副知事 それでは私の方から。新型コロナウイルス感染症によります、市町村財政は本当に大きな影響がある。そしてまた来年度以降の税収の減少が非常に心配である、まさにその認識を共有させていただいているところでございます。

ただいま並木市長さんの方から、都で既に配布させていただきました特別交付金を活用して、妊婦さんであるとか、事業者さんの支援をやっていただいているというお話がございましたが、都といたしましても今後、必要な対応をできる限り迅速、適切にやってまいりたいと思っております。

市町村総合交付金等も重要な一つの財源でございますので、そういったものも含めまして、適切な今後の支援に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○行政部長 それでは今のお話を受けて、並木市長の方からいかがでしょうか。

○東久留米市長 ありがとうございます。知事から最初にコロナウイルスに打ち勝つんだという決意をいただきまして、本当に自治体としても連携をして頑張っていきたいなというふうに思っております。

本当に得体の知れない状態の時って、本当に市民の皆さんも本当に大変不安になっておりました。正解がない中で、私たちも本当にこの判断、決断っていうことが大変難しい時期がありましたけども、知事が頑張っている姿を見させていただいたり、交付金をいただいて、そういったものを市民の皆さんが必要なものに向けていこうという、そういった補償をしていただいたということがあるのが、非常にありがたかったなと思っておりますし、しかし終息に向けましてまだ気を緩めることなくやっていかなくてはいけないと思っておりますので、この辺はやはり連携をしながらしっかり対応してまいりたいなと思っております。財源の方においては引き続き、是非御支援をいただければというふうに思っております。

また、この財源と同時に議会の方では本当にこの六仙公園とTGGに関しまして、特にTGGは多摩地域にも展開するんだという知事の強いメッセージが今年ありましたものですから、大変盛り上がっている状態でございます。財政支援とともにしっかりと地域に訴えてこいと議会と言われてきましたので、そういった意味において六仙公園並びにこのTGGに向けての、特にこれ当市だけと言うより、六仙公園にしましても、TGGにしても、北多摩の北部全体の波及効果というものがあるんじゃないかなというふうに思っています。そういった意味で当市だけではなく、地域一体の活性化というものに向けまして、どうか御支援というか、考え方というものを広めていただければなというふうに思っております。

大変課題はあるというふうにお伺いしておりますけれども、是非御協力と御理解をいただきたいなというふうに思います。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは最後に知事からお願いをいたします。

○知事 今日はお越しいただきまして、現場のお声を聞かせていただきました。また、長期戦略、そして来年度予算の編成等々ございます。それが皆様方の現場の声を念頭にしながら進めていきたいと考えております。また今度ともよろしく申し上げます。

○行政部長 それでは以上で終了いたします。本日は御多用のところ、どうもありがとうございました。